

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月23日(金)

施策		産業価値の創出		期間	令和5年～令和9年	施策担当部署	産業振興部 産業ブランド推進室
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	本市の産業の強みである農業を生かした産業ブランディングにより、「儲かる農業都市ふかや」の実現に向けた官民連携の取組が数多く展開され、本市の産業が持続的に発展することを目指します。		
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
	小項目	4	産業価値の創出				
	主要プロジェクト	2	農業の強みを生かした産業の活力産出				
重要度・満足度				施策推進のための主な取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ベジタブルテーマパークフカヤの推進 ・アグリテック集積戦略の推進 ・地域通貨導入事業の推進 	
施策を取り巻く社会状況等	我が国の生産年齢人口は令和22(2040)年には約6千万人まで落ち込みます。税収の落ち込みとともに産業の担い手不足が懸念されており、効率と付加価値が高い、魅力的な産業の創出に向けた取組が全国各地で行われています。						

2. 評価指標

上段は目標値(令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値)、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			成果指標	アグリテック関連事業所設置数(累計)	件	-	6.00	7.00
	深谷市に拠点(事務所等)を設置した企業の数		3.00					
	地域通貨流通額	億円	-	2.00	2.50	3.00	3.50	4.00
	地域通貨利用額		2.60					

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	拡充	1. 現状維持 2. 拡充 3. 縮小
アグリテック集積に向けた関連事務所設置数については目標をおおむね達成できた。引き続き本取組を加速させるため、民間主導で自走化する仕組みなどについて検討、実行していく必要がある。地域通貨流通額においては、目標値を上回る実績を上げることができた。引き続き、地域通貨の発行額や取扱店、利用者等の拡大に向けた施策に取り組むとともに、地域課題の解決に向け、地域通貨を活用した取組を検討する必要がある。		
		評価者 産業ブランド推進室長 柴野 晃彦

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・VTPについては、花園IC拠点地区を起点とした回遊を促進させるため、各種観光コンテンツの充実化、アクティビティの強化、VTPメディアの効果的な運用などに取り組む。 ・アグリテック集積事業の民間自走化のため、交流会の実施や、官民ファンドの創設を含めた産業集積策について検討及び実施する。 ・本市を取り巻く地域課題解決のため、地域通貨を活用した行政事業を実施する。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

本市の産業が持続的に発展していくため、今後は市内経済の活力を引き出し、高めていくなどの政策的な取組を実施して市内産業の振興を図っていきたい。	
所属長	産業振興部長 三浦 聖樹